

イエスのことば 第42回

「そこで、わたしもあなたに言います。あなたはペテロです。わたしはこの岩の上に、わたしの教会を建てます。よみの門もそれに打ち勝つことはできません。」(マタイ 16:18)

□イエスの公生涯の起承転結

起：受洗から、メシア宣言（紀元 27 年の春、過越の祭り）を経て、宣教開始まで

承：メシアとしての権威を現わす。しかし結果的に、指導者層の拒否を受ける

転：弟子訓練

結：エルサレム入城から十字架（紀元 30 年の春、過越の祭り）、復活、昇天

□文脈の確認

1. 転の部、弟子訓練。十字架まで、1 年余。
2. 紀元 29 年の春、過越の祭りの頃から、同年の秋、仮庵の祭りまでの、約 6 か月間において、イエスは、異邦人の地域へ 4 回、旅行した。異邦人地域への 4 回の旅行は、**退避（リトリート）と休息の時**であったと同時に、**弟子たちの訓練**を目的とした。
3. 前回は、異邦人地域に入ってベツサイダに来たときの盲人の癒やし、そしてリトリート第 4 回、ピリポ・カイサリアへ行ったときの出来事、ペテロの信仰告白であった。
 - (1) 前回は、マルコの福音書に基づいて、**ペテロの信仰告白の位置づけ**を学んだ。
 - (2) ピリポ・カイサリアに着く前に、イエスは目の見えない人を見えるように癒やした。そのときの癒やしは、珍しく二段階でなされた。第一段階は、ぼんやりと見えるようになり、第二段階ではっきりと見えるようになった。
 - (3) 霊的な目が開かれるという観点から見ると、**ペテロの信仰告白は、まだ第一段階のぼんやりと見えるようになった段階**である。第二段階は、イエスの死と葬りと復活、そして昇天の後、紀元 30 年の五旬節の日を待たねばならない。
4. 今回は、マタイの福音書に基づいて、ペテロの信仰告白に対する**イエスの応答**に焦点を当てる。

リトリート第4回ピリポ・カイサリア② ペテロの告白に対して

□ピリポ・カイサリアにて、ペテロの信仰告白とそれに対するイエスの応答

1. 人々はわたしのことをだれだと言っているか (マタイ 16:13~14)

さて、ピリポ・カイサリアの地方に行かれたとき、イエスは弟子たちに「人々は人の子をだれだと言っていますか」とお尋ねになった。

彼らは言った。「バプテスマのヨハネだと言う人たちも、エリヤだと言う人たちもいます。またほかの人たちはエレミヤだとか、預言者の一人だとか言っています。」

ピリポ・カイサリアの地方・・・・・・・・ヘルモン山のふもと。ヨルダン川の水源のひとつ。深い谷は岩壁が覆いかぶさるようになっていて昼も暗い。「**ハデス（よみ）の門**」と呼ばれた地域。水源では、**岩壁**から水が流れ出し、**川床は小石**、水は澄んで清流となっている、風光明媚な所。

2. あなたがたはわたしをだれだと言うのか (マタイ 16:15~16)

イエスは彼らに言われた。「あなたがたは、わたしをだれだと言いますか。」

シモン・ペテロが答えた。「あなたは生ける神の子キリストです。」

3. そこで、わたしもあなたに言おう (マタイ 16:17~19)

すると、イエスは彼に答えられた。「バルヨナ・シモン、あなたは幸いです。このことをあなたに明らかにしたのは血肉ではなく、天におられるわたしの父です。そこで、わたしもあなたに言います。あなたはペテロです。わたしはこの岩の上に、わたしの教会を建てます。よみの門もそれに打ち勝つことはできません。わたしはあなたに天の御国の鍵を与えます。あなたが地上でつなぐことは天においてもつなぐれ、あなたが地上で解くことは天においても解かれます。」

(1) バルヨナ・シモン、あなたは幸いです・・・バルヨナとは、「ヨナの子」の意味。

しかし、シモンの実父は、ヨハネ (ヨハネ 1:42)

① ヨナは、旧約聖書の預言者ヨナを指す。ヨナが神のメッセージを託されてニネベに行き、預言者として語ったように、ここでは、ペテロが神から託されたメッセージ「イエスはメシアである」を語ったから。

② ヨナは異邦人の町ニネベに遣わされた。同様に、ペテロも異邦人のために救いの門を開くことになる。

- (2) あなたはペテロです。わたしは、この岩の上に、わたしの教会を建てます
- ① ペテロは「小石」。岩は、「大きな岩」。聖書で「岩」は、メシアを象徴。
 - ② イエスと弟子たちが来ている場所は、ヨルダン川の源流。岩壁から水が流れ出し、川床は小さな石であった。イエスは、川床の小石を指して、「あなたはこの小石である」と語り、岩壁を指して「この岩の上にわたしの教会を建てるであろう」と言われた。
 - ③ 教会は、メシアを土台石として、その上に建てられる。
 - ④ では、ペテロと教会とは、どのような関係にあるのか。教会の信者は、「イエスは主です」と告白して救われ、教会の一員とされる。その意味では、ペテロの告白、「イエスは生ける神の子キリストです」という信仰告白の上に、教会が建てられる、ということである。
- (3) よみの門もそれに打ち勝つことはできません
- ① イエスと弟子たちが来ている溪谷は、「ハデスの門（よみの門）」と呼ばれる場所であった。
 - ② ハデスの門とは、死を意味する。「ハデスの門もそれに打ち勝つことはできない」とはどういう意味か。「それ」とは、岩の上に建てられたキリストの教会である。ハデスの門、すなわち死も、教会に打ち勝つことはできない。教会は、使徒たちが殉教して死んでも、なくならずに続くという意味である。
- (4) あなたに天の御国の鍵を与えます・・・ペテロに、天の御国の鍵が与えられた
- ① 「天の御国」とは、神の国という意味
 - ② 聖書の中で、神の国には5つの層がある。その一つは、霊的な神の国。どの時代にせよ、信仰によって救われた信者が入るのが、霊的な神の国である。そして、教会時代においては、信者となって霊的な神の国に入るということは、信者となってキリストのからだである教会の一員となるということ（＝聖霊のバプテスマを受ける）と同じである。
 - ③ ペテロは、聖霊のバプテスマによって教会の一員となる門を、3つのグループに対して、開いた。
 - まずユダヤ人に開いた（使徒2章）
 - 次にサマリヤ人に開いた（使徒8:17）
 - そしてローマ人（異邦人）に開いた（使徒10:44）
 - ④ ペテロがイエスから受けた権威（天の御国の鍵）によって一度開かれた門は、閉じられることはない。
- (5) あなたが地上でつなぐことは天のおいてもつなぐれ、あなたが地上で解くことは天においても解かれます・・・禁止したり許可したりする、使徒の権威を指す。使徒の権威に関する実例は、「アナニアと妻サツピラの事件」使徒5:1~11